



タンザニア

BOP層実態調査レポート

- 調査実施日：2012年8月
- 調査場所：ダルエスサラーム
- 訪問場所：主要通信会社

概要

タンザニアにおける通信網の整備はTTCL(Tanzania Telecommunications Company Ltd)が一手に引き受ける。固定電話やインターネットなどのサービスも行っているが、主に通信網の整備、特に光ファイバーの増設に力を入れている。

回線使用に関する許可・制度の調整や価格設定などはTCRA(Tanzania Communications Regulatory Authority)の管轄になる。すべての通信会社はTCRAから許可をもらい事業を行う。

主要な通信会社はVodacom、Airtel、Tigo、ZantelにTTCLを加えた5社で、携帯事業の他にもインターネットサービスや電子マネーを用いた金融業務など幅広く事業を行っている。





携帯電話・固定電話の市場占有率

携帯電話の市場占有率は、上位からVodacomが断トツのシェアを誇り、続いてAirtel、Tigo、Zantel、TTCLとなっている。Zantelはその名の通りザンジバル島、ザンジバル島出身者に特化したキャリアであり、全国的にサービスを提供できるのは上位3社のみとなっている。ZantelとTTCLは固定電話のサービスも行っていて契約者数は合計でも17.3万件となり、非常に少ない契約数にとどまっている。

これは固定電話が普及する前に携帯電話が広く普及したため、固定電話の契約数はこれ以上伸びず携帯電話の合計2,697万件と比べて1%にも満たない。2005年の固定電話の契約数は15.4万件で携帯電話の契約数は296万件であった。2012年と比べて固定電話はほぼ同数にも関わらず携帯電話は約10倍に膨れ上がっている。(出所: TCRA資料)

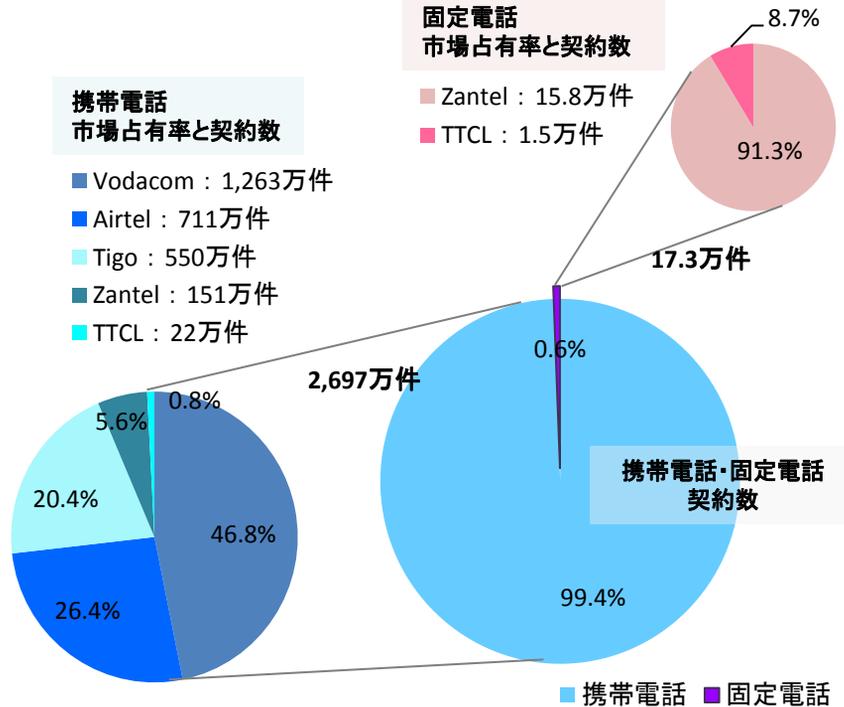
携帯・固定電話の普及率は2005年の10%から、2007年までは毎年5%の増加、その後2011年までは毎年10%の増加で現在は60%の普及率となっている。

携帯電話市場占有率と契約数

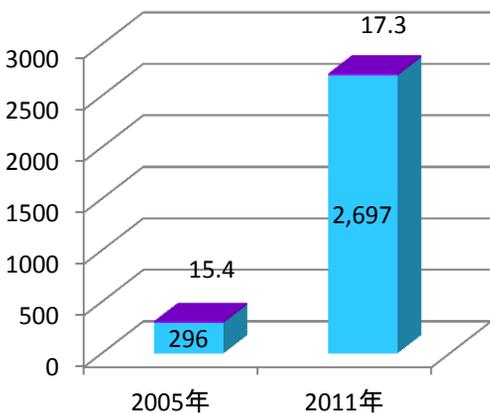
- Vodacom : 1,263万件
- Airtel : 711万件
- Tigo : 550万件
- Zantel : 151万件
- TTCL : 22万件

固定電話市場占有率と契約数

- Zantel : 15.8万件
- TTCL : 1.5万件



固定電話・携帯電話契約数増加数 (単位: 万件)



通話量の経年変化を見てみると、2006年には国内・国外合わせて5.8億分しかなかった通話量は2011年には189.8億分と爆発的に増加している。30倍以上に膨れ上がった市場は、今現在も増加中である。2012年度から通話料にかかる税金が10%から12%に引き上げられたが、タンザニアで最も儲かっている業界といわれている通信会社の成長はまだまだ続きそうである。(出所: TCRA資料)

- 固定電話
- 携帯電話



携帯電話のコスト

ハード

携帯電話機自体は非常に安価に手に入る、中国製の少し前のモデルはTsh40,000(約2,000円)前後で手に入り、BOP層にとって手の届かない値段ではなく、何より便利であるため皆何とかして購入している。携帯本体があれば後はSIMカードTsh2,000(約100円)を購入するだけですぐに使えるようになり、日本のように煩雑な手続きはなく銀行口座を開く必要もない。

3か月以上の使用には登録が必要になるが、免許証などの身分証明書と登録シートに記入するだけでよく、特に制限もない。



使用料金の支払い方法

支払はプリペイドカードを購入して、購入した分だけ使える方式なのでプリペイドカードを購入できない多くの人は待ち受け専用の携帯を持っていることになる。長時間通話する時には各キャリアが提供している同じキャリア同士の深夜通話料金割引などの時間帯割引などを利用し通話をする。

通常通話料金はキャリアごとに多少の違いがあるが平均して同じキャリアならば毎分(税抜)Tsh100(約5円)前後、他社との通話はTsh200(約10円)弱、東アフリカ圏内はTsh300(約15円)前後、海外へはTsh500(約25円)弱の通話料金がかかる。多くはほとんどお金がかからないショートメールを多用している、基本的には各キャリアとも1メール約Tsh45(約2円)がかかるが、キャリアごとにいろいろなサービスがあり、同キャリア同士のショートメールは1メールTsh1(0.05円)などのサービスを利用して盛んに携帯を使用している。

充電方法

充電に関しては、できる時にできる所で充電するという形で家に電気があれば家で充電し、なければ外で充電できる場所を探す。日本の携帯充電ショップとは少し異なるが近所で電気があるところが即席の携帯充電ショップになる。どこにも電気がないところではソーラー設備を持っている場所や発電機を動かしている所に充電をしに行く。場所にもよるが、知り合いなら基本は無料で、通常はTsh100(約5円)程度で充電することができる。



州ごとの普及率(Airtelの事例)

Airtelの州ごとの契約者数と、タンザニアの州ごとの人口統計(2002年)から、普及率を見てみると以下の通りである。

人口と携帯電話契約者数(Airtel)

人口上位5州(単位:万人)			契約者数上位5州(単位:万人)			普及率上位5州		
1	ムワンザ州	294	1	ダルエスサラーム州	130	1	ダルエスサラーム州	51.5%
2	シニャンガ州	281	2	ムワンザ州	64	2	プワニ州	28.9%
3	ダルエスサラーム州	250	3	シニャンガ州	50	3	アルーシャ州	26.3%
4	ムベヤ州	207	4	モロゴロ州	40	4	マニャラ州	26.1%
5	カゲラ州	203	5	リンディ州	12	5	モロゴロ州	22.7%
人口下位5州(単位:万人) ※ザンジバルを除く			契約者数下位5州(単位:万人) ※ザンジバルを除く			普及率下位5州 ※ザンジバルを除く		
	ルブマ州	112		リンディ州	12		ルクワ州	10.9%
	シンギダ州	109		ルクワ州	12		ルブマ州	8.2%
	マニャラ州	104		キゴマ州	11		イリンガ州	6.9%
	プワニ州	89		イリンガ州	10		ムベヤ州	6.6%
	リンディ州	79		ルブマ州	9		キゴマ州	6.5%

通信会社ごとに強い地域と弱い地域があるため一概には言えないが、普及率上位5州を見てみると、タンザニア最大の都市ダルエスサラームが断トツの1位で、続いて隣接州であるプワニが2位になり、ダルエスサラームに最も近い中核都市モロゴロを含むモロゴロ州が5位となっている。3位のアルーシャはタンザニア第3の都市でありセレンゲティなどの世界遺産への起点の都市でもあり、マニャラ州はアルーシャの隣接州で4位になっている。ダルエスサラーム、アルーシャの都市圏が上位を占める非常に分かりやすい結果となっている。

一方、下位5州を見てみると、すべて内陸の州で特に南部の州に偏っている。アクセスは非常に悪く、経済的な面でもタンザニアの最貧困層が住む地域となっている。地方部と都市部では普及率に大体10%~15%の差がある、この差は小さくはないが地方部だからと言ってまったく携帯電話が普及していない訳ではない。持っている人は持っているため情報格差があるといえるが、技術的な問題というよりは経済的な問題に起因する部分が多い。



【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。